



OnTime® GROUP CALENDAR

for Microsoft(Ver.4.3-)

ドメイン設定マニュアル
クイック & ステップバイステップ

OnTime Group Calendar Direct Shop

2021/09/14

目次 ドメイン設定マニュアル



• ドメイン設定の概要について	p.03
• Exchange管理センターでの作業	p.06
• Azure Portal(AzureAD)での作業	p.22
• OnTime管理センター ドメイン設定での作業	p.52
• 基本タブ	p.54
• 認証タブ	p.55
• Sourceタブ	p.56
• Proxyタブ	p.57
• 高度な設定タブ	p.58
• 保存結果と再起動	p.59
• 補足1) オンプレExchangeと基本認証	p.61
• 補足2) LDAP設定	p.64
• 補足3) Graphの認証エラーについて	p.68



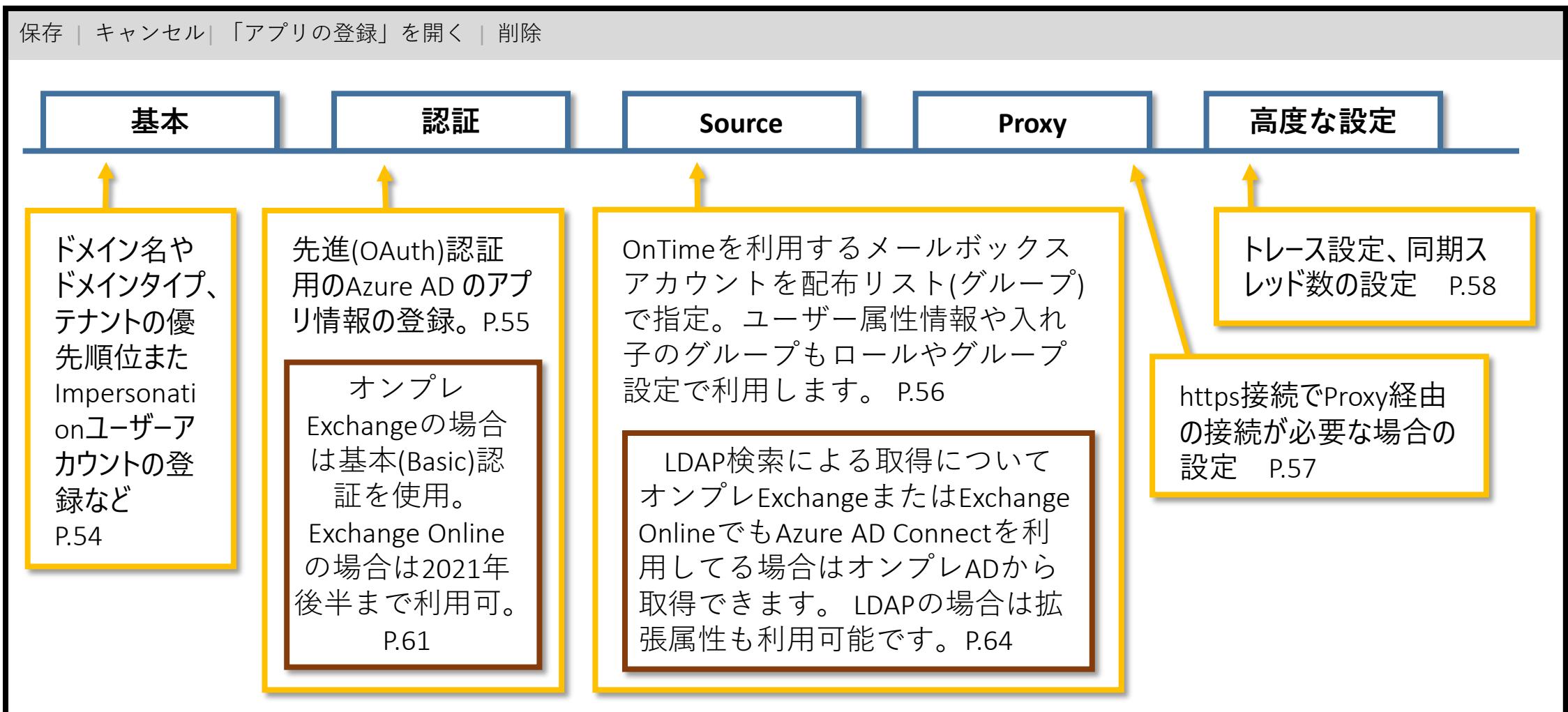
ドメイン設定の概要について

ドメイン設定について



- ・ ドメイン設定ではOnTimeと接続するExchange OnlineまたはオンプレのExchangeサーバーを設定します。
- ・ OnTimeは複数のテナント（Exchangeドメイン）と接続することも可能です。
- ・ 接続するテナント毎にドメイン設定を行います。
- ・ OnTimeサーバーの設置やドメインは同じM365のテナントやADメンバー等の必須条件はありません。
- ・ 本マニュアルの各手順で設定する内容は以下の通りです。
 - ・ Exchange管理センターでの作業について
 - ・ EWS接続用に同期するメールボックスへImpersonation（偽装）する同期用アカウントを設定します。
同期用アカウントは多要素認証を設定しないでください。
 - ・ 同期するメンバーのソース情報となるユーザー、会議室、備品のグループアドレスを準備します。
 - ・ Azure Portal(Azure AD)での作業について
 - ・ Microsoft Graph接続用に「アプリの登録」を設定します。
 - ・ OnTime管理センターでの作業について
 - ・ 接続するテナントへの接続及び認証方法を設定します。
 - ・ 同期するメンバーのソース情報を設定します。
 - ・ 次ページにドメイン設定ページの構成概略図を表示します。

ドメイン設定のページ構成





Exchange管理センターでの作業

Exchange側の同期用アカウントの設定



- OnTimeは同期対象のメールボックスと接続するアカウントにはImpersonation(偽装)ユーザーとしての管理者の役割(ロール)を付与する必要があります。詳細は以下をご参照ください。
- 偽装ユーザー(Impersonation User)について
 - OnTime for Microsoft を Exchange Online やオンプレの Exchange に接続する際に、全ユーザーを Impersonation(日本語で演技や偽装)してスケジュールデータの入出力を行う1つのアカウントを指します。 詳細は以下のURLをご参照ください。
<https://www3.ontimesuite.jp/impersonation/>
 - Exchange 側での Impersonation User の設定方法
<https://www3.ontimesuite.jp/makescope/>
- 書き込みスコープを制限して特定のメールボックスに制限する方法について
 - テナント運用者とOnTime運用者が違う場合などで厳密に同期対象のメールボックスだけに接続の制限を掛けたい場合は、同期を司るユーザーに割り当てる役割「ApplicationImpersonation」指定時の「書き込みスコープ」を厳密に設定することで明確化が可能です。
 - ドメイン(テナント)の特定のグループのメールボックスだけに OnTime の利用制限ができますか ?
<https://www3.ontimesuite.jp/makescope/>

Exchange管理センターを開く



Exchange admin center + admin.exchange.microsoft.com/#/adminRoles

Exchange 管理センター

管理者の役割

管理者の役割グループによって、Exchange 管理センターでデータを表示してタスクを実行し、PowerShell コマンドレットを使用するためのアクセス許可がユーザーに与えられます。ユーザーには、最小限の役割を割り当てて、必要なアクセス許可のみを付与してください。[詳細情報](#)

役割グループを追加する

17 個のアイテム 検索

役割グループ	説明
Compliance Management	This role group will allow a specified user, responsible for compliance, to properly configure and manage compliance settings within Exchange in accordance with their policy.
Discovery Management	Members of this management role group can perform searches of mailboxes in the Exchange organization for data that meets specific criteria.
ExchangeServiceAdmins_-1650084825	Membership in this role group is synchronized across services and managed centrally. This role group is not manageable through Microsoft Exchange. Members of this role group include Exchange-Online service administrators only. By default, this group may not be assigned any roles. However, it will be a member of the Organization Management role group and will inherit the capabilities of that role group.
Help Desk	Members of this management role group can view and manage the configuration for individual recipients and view recipients in an Exchange organization. Members of this role group can only manage the configuration each user can manage on his or her own mailbox. Additional permissions can be added by assigning additional management roles to this role group.
HelpdeskAdmins_1897374933	Membership in this role group is synchronized across services and managed centrally. This role group is not manageable through Microsoft Exchange. Members of this role group may include cross-service helpdesk or password administrators, as well as external partner groups and Microsoft Support. By default, this group is not assigned any roles. However, it will be a member of the View-Only Organization Management role group and will inherit the rights of that group.
Hygiene Management	Members of this management role group can manage Exchange anti-spam features and grant permissions for antivirus products to integrate with Exchange.
OnTimelImpersonation	
Organization Management	Members of this management role group have permissions to manage Exchange objects and their properties in the Exchange organization. Members can also delegate role groups and management roles in the organization. This role group should not be deleted.

- Exchange管理センターを開きます。
- 役割の「管理者の役割」を開きます。
- 「役割グループを追加する」ボタンを押して役割グループを追加します。

役割グループの追加 1



Exchange admin center +
admin.exchange.microsoft.com/#/adminRoles/addRoleGroup

Exchange 管理センター

管理者の役割 > 役割グループの追加

基本情報

名前 *
ApplicationImpersonationForOnTime

説明
ApplicationImpersonationForOnTime

書き込みスコープ ①
Default

次へ キャンセル



- 新しい役割を作成します。
- 名前と説明欄には識別しやすい文字列を指定してください。
- 「次へ」ボタンを押してアクセス許可に進みます。

役割グループの追加 2



Exchange admin center +
admin.exchange.microsoft.com/#/adminRoles/addRoleGroup

Exchange 管理センター

管理者の役割 > 役割グループの追加

アクセス許可を追加

ApplicationImpersonationForOnTime の役割グループに追加する役割を選択します。役割は、この役割グループに割り当てられたメンバーに管理権限が割り当てられているタスクの範囲を定義します。

1 個選択済み × 検索

役割 ↑	説明	既定の受信者のスコープ	既定の構成スコープ
Address Lists	This role enables administrators to manage address lists, global address lists, and	Organization	OrganizationConfig
<input checked="" type="checkbox"/> ApplicationImpersonation	This role enables applications to impersonate users in an organization in order to perform tasks on behalf of the user.	Organization	None
ArchiveApplication	This role allows partner applications to archive items.	Organization	OrganizationConfig
Audit Logs	This role enables administrators to manage the cmdlet audit logging in an organization.	Organization	OrganizationConfig
Compliance Admin	Lets people view and edit settings and reports for compliance features.	Organization	OrganizationConfig

戻る **次へ** キャンセル

- ApplicationImpersonationを選択します。
- 「次へ」ボタンを押して管理者の割り当てへ進みます。

役割グループの追加 3



Exchange admin center +
admin.exchange.microsoft.com/#/adminRoles/addRoleGroup

Exchange 管理センター

管理者の役割 > 役割グループの追加

管理者の割り当て

この役割グループに割り当てるユーザーを選択します。これらのユーザーには、前の手順で割り当てた役割を管理するためのアクセス許可が付与されます。

メンバー

名前またはメール アドレスで検索

admin

戻る 次へ キャンセル

- この役割グループの管理者アカウントを選択します。
- 「次へ」ボタンで確認画面へ進みます。

役割グループの追加 4



Exchange admin center +
admin.exchange.microsoft.com/#/adminRoles/addRoleGroup

Exchange 管理センター

管理者の役割 > 役割グループの追加

● 基本情報
● アクセス許可
● 管理者
● 確認と完了

役割グループの確認と完了

役割グループのメンバーに、これらの変更による影響の詳細を知らせることをお勧めします。

基本情報

名前: ApplicationImpersonationForOnTime
説明: ApplicationImpersonationForOnTime
書き込みスコープ: Default

[基本情報の編集](#)

アクセス許可

ApplicationImpersonation

[アクセス許可の編集](#)

管理者

admin

[管理者の編集](#)

戻る **役割グループの追加** キャンセル

- 設定内容に間違いがなければ「役割グループの追加」ボタンを押します。

役割グループの追加 5



Exchange admin center

admin.exchange.microsoft.com/#/adminRoles/addRoleGroup

Exchange 管理センター

管理者の役割 > 役割グループの追加

● 基本情報
● アクセス許可
● 管理者
● 確認と完了

役割グループが追加されました

ApplicationImpersonationForOnTime 役割グループが追加されました。

関連機能
[この役割グループを表示する](#)
[別の役割グループを追加](#)

完了



- 「役割グループが追加されました」のメッセージが表示されたら「完了」をボタンを押して、役割グループの一覧画面へ戻ります。

役割グループの追加 6



Exchange admin center

admin.exchange.microsoft.com/#/adminRoles

Exchange 管理センター

管理者の役割

管理者の役割グループによって、Exchange 管理センターでデータをためのアクセス許可がユーザーに与えられます。ユーザーには、最小限の。詳細情報

役割グループ + ApplicationImpersonationForOnTime

ApplicationImpersonationForOnTime

割り当て済み

+ 追加

管理者名	種類
admin	UserMailbox

1 個のアイテム 検索

役割グループ

ApplicationImpersonationForOnTime

Compliance Management

Discovery Management

ExchangeServiceAdmins_-1650084825

Help Desk

HelpdeskAdmins_1897374933

Hygiene Management

OnTimelImpersonation

- 作成した役割グループを選択します。
- 割り当て済みタブの「+ 追加」ボタンを押します。

役割グループの追加 7



Exchange admin center

admin.exchange.microsoft.com/#/adminRoles

Exchange 管理センター

管理者の役割

管理者の役割グループによって、Exchange 管理センターでデータを操作するためのアクセス許可がユーザーに与えられます。ユーザーには、最小限の権限を付与できます。

役割名: ApplicationImpersonationForOnTime

検索して管理者として追加

名前またはメール アドレスで検索

管理者名	種類
otdsync	User

追加

役割グループ ↑

- ApplicationImpersonationForOnTime
- Compliance Management
- Discovery Management
- ExchangeServiceAdmins_-1650084825
- Help Desk
- HelpdeskAdmins_1897374933
- Hygiene Management
- OnTimeImpersonation

- 管理者の追加画面で、バックエンドで同期処理を行うアカウントに割り当てたいユーザー名を追加します。
- 「追加」ボタンを押します。

役割グループの追加 8



Exchange admin center

admin.exchange.microsoft.com/#/adminRoles

Exchange 管理センター

管理者の役割

管理者の役割グループによって、Exchange 管理センターでデータをためのアクセス許可がユーザーに与えられます。ユーザーには、最小限の。詳細情報

役割グループのコピー 削除する

役割グループ ↑ 説明

ApplicationImpersonationForOnTime

ApplicationImpersonationForOnTime

Compliance Management

Discovery Management

ExchangeServiceAdmins_-1650084825

Help Desk

HelpdeskAdmins_1897374933

Hygiene Management

OnTimeImpersonation

割り当て済み

1人のメンバーがこの役割グループに追加されました。

これは、この役割に割り当てられている管理者です。ここで、この役割グループから管理者を追加または削除できます。

+ 追加 2 個のアイテム 検索

管理者名	種類
admin	UserMailbox
otdsync	UserMailbox

全般 アクセス許可

- 「**人のメンバーがこの役割グループに追加されました」のメッセージが表示されます。
- 作成した役割に、ユーザーが追加されています。

Exchange側の同期対象のソースを指定



- OnTimeは同期対象として個人のメールアドレスや、配布グループ(配布リスト)を指定できます。
詳細は以下をご参照ください。
 - 今回はグループのメールアドレスのリストで指定します。
 - 次にOnTimeと同期するリストをグループ化した配布グループ(配布リスト)のメールアドレスを指定します。
 - グループアドレスにはOnTimeで表示する、または操作できるいずれの場合のアカウントでも含まれている必要があります。
 - 設定した配布グループが入れ子になっていても問題ありません。入れ子になっているグループを指定するとOnTime管理センタの他の設定（ロール設定や静的グループ設定）などで利用できます。
 - ドメインのユーザー、会議室、備品のそれぞれに指定されている配布グループ(配布リスト)のメールアドレスが複数の場合はカンマで区切ってください。
 - 例)
ユーザーグループ：
 - OnTimeUsers@ontimedemo.com, OnTimeStaff@ontimedemo.com
 - 会議室グループ：
 - OnTimeRooms@ontimedemo.com
 - 共有席グループ：
 - OnTimeHotDesk@ontimedemo.com, OnTimeWorkspaces@ontimedemo.com, OnTimeFreeAddresses@ontimedemo.com
 - 備品グループ：
 - OnTimeResources@ontimedemo.com, OnTimeEquipment@ontimedemo.com



配布グループの追加

The screenshot shows the Exchange admin center interface. The left sidebar is titled 'Exchange 管理センター' and includes categories like 'ホーム', '受信者', 'メールボックス', 'グループ' (which is highlighted with a yellow box), 'ソース', '連絡先', 'メール フロー', '役割', '管理者の役割', '移行', 'レポート', '分析情報', '組織', 'パブリック フォルダー', '設定', '従来の Exchange 管理センター', and 'Microsoft 365 管理センター'. The main content area is titled 'グループ' and shows a list of groups under the '配布リスト' tab. The 'Groups' tab is also highlighted with a yellow box. At the top of the list, there is a blue 'グループの追加' button, which is also highlighted with a yellow box. The list contains 10 items, each with columns for 'グループ名', 'グループ メール', '同期の状態', '作成日', and '列の選択'. The items listed are: RoomG0, RoomG1, RoomG2, RoomG3, オンタイムデモ株式会社, デモ営業部, デモ役員, デモ技術部, デモ東京東課, and デモ東京西課.

- Exchange管理センターを開きます。
- 受信者の「グループ」を開きます。
- 配布リストのタブを開きます。
- 「グループの追加」ボタンを押して配布リストのグループを追加します。
- 作成画面ではグループの種類で「配布」を選択し、任意のグループ名とメールアドレスを指定して保存してください。
例) 名前：オンタイム利用グループ
メールアドレス：OnTimeStaff@ontimedemo.com

メンバーの指定 1



Exchange admin center

admin.exchange.microsoft.com/#/groups/:/GroupDetails/

Exchange 管理センター

ホーム > グループ

グループ

Microsoft 365 配布リスト メールが有効なセキュリティ 動的

全般 メンバー 設定

所有者 (1)

すべての所有者の表示と管理

メンバー (0)

すべてのメンバーの表示と管理

RoomG0

RoomG1

RoomG2

RoomG3

オントタイムデモ株式会社

デモ営業部

デモ役員

デモ技術部

デモ東京東課

デモ東京西課

オントタイムデモ株式会社

すべてのメンバーの表示と管理

- 作成したグループ名をクリックして詳細を開きます。
- メンバーのタブを開きます。
- 「すべてのメンバーの表示と管理」ボタンを押して任意の個人ユーザーや配布グループ名を選択して追加します。

メンバーの指定 2



The screenshot shows the Exchange admin center interface for managing groups. On the left sidebar, under '組織' (Organization), the 'グループ' (Groups) option is selected. In the main content area, a group named 'オンタイムデモ株式会社' (OnTime Demo Co., Ltd.) is displayed. A yellow box highlights the 'メンバー' (Members) tab. Below it, another yellow box highlights the 'オーナー (1)' (Owner) section, which lists 'デモ営業部' (Demo Sales) as the owner. A large yellow arrow points from the 'メンバー' tab to the member list on the right. The member list shows three members: 'デモ営業部' (Demo Sales) with email 'DemoSales@ontimedemo.com', 'デモ技術部' (Demo Technical) with email 'DemoTech@ontimedemo.com', and 'デモ役員' (Demo Executive) with email 'DemoExec@ontimedemo.com'. There is also a link 'すべてのメンバーの表示と管理' (View and manage all members).

- メンバー欄に指定した個人名や配布グループ名が表示されます。
前述、グループは入れ子で設定することも可能です。
詳細は以下のリンク先をご確認ください。

「OnTimeの各種設定でExchangeのグループ(配布リスト)を使用できますか？」
<https://www3.ontimesuite.jp/usinggroup/>

配布グループの設定



Exchange admin center

admin.exchange.microsoft.com/#/groups/:/GroupDetails/

Exchange 管理センター

ホーム > グループ

グループ

Microsoft 365 配布リスト メールが有効なセキュリティ 動的

グループの追加 エクスポート 更新 ...

全般 メンバー 設定

このグループを共有アドレス帳に表示しない

オントタイムデモ株式会社

配布リスト グループ ● 1人の所有者 ● 3人のメンバー

RoomG0

RoomG1

RoomG2

RoomG3

オントタイムデモ株式会社

デモ営業部

デモ役員

デモ技術部

デモ東京東課

デモ東京西課

保存

- 設定タブを開きます。
- 全般設定の「このグループを共有アドレス帳に表示しない」にチェックをつけて「保存」ボタンをクリックします。



Azure Portal(AzureAD)での作業

「2021年後半より先進認証のみ接続予定」の情報



2021年2月に情報が追加されています。次頁参照

- OnTime が Microsoft365 (Exchange Online) と先進認証(OAuth)で接続する際は Azure Portal で「アプリの登録」を行う必要があります。以下の情報を参考に認証方式は先進認証(OAuth)を採用してください。
- Exchange Online の基本認証が非推奨となります(Microsoft Docs発行元：2019年9月20日)
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/lifecycle/announcements/exchange-online-basic-auth-deprecated>
 - 抜粋--

基本認証に代わり、OAuth 2.0 に基づく先進認証が使用されるようになります。2020 年 10 月には基本認証が廃止されるため、それまでに先進認証をサポートするアプリへ移行することをお勧めします。2020 年 10 月以降は、アプリから Exchange Online に接続する際に基本認証を使用できなくなります。
- 先進認証に移行するための新しいリソース(Microsoft Docs 発行元：2020 年 3 月 2 日)
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/lifecycle/announcements/new-resources-modern-authentication>
 - 抜粋--

注: Exchange Online での基本認証の無効化日は、2021 年後半まで延期されました。
- Ver.4.1.0 より Microsoft Teams と連携させるためには OAuth認証は必須となりました。
- Ver.4.1.0 より 会議室のビル階数や定員などを取得できるようになりましたが OAuth認証の場合だけです。

「先進認証のみの接続予定」の2021年2月情報



- 改めて案内するまで、テナントが基本認証を利用している場合は無効にしない。また無効にするまで遅くとも12ヶ月前には案内する。(Microsoft Exchange Team Blog 2021年02月04日)
<https://techcommunity.microsoft.com/t5/exchange-team-blog/basic-authentication-and-exchange-online-february-2021-update/ba-p/2111904>
 - 抜粋--
 - 改めて案内するまで、テナントが基本認証を利用している場合は無効にしません。また無効にする際12ヶ月前には案内します。
 - 但し、基本認証を利用していない場合は間違って使用しないよう無効にします。これはテナントのプロトコル使用状況を調査のうえ3日前にメッセージセンターに通知されます。基本認証の無効化は新規テナントのデフォルト設定にも含まれます。
 - 通知を受けてからも連絡をすれば除外対応が可能で、通知を見逃して基本認証が無効になっても再度有効に出来る機能を準備予定です。
- とはいえる、OnTime は Ver.4.1.0 より Microsoft Teams と連携させるためには OAuth認証は必須となりました。
- また、Ver.4.1.0 より 会議室のビル階数や定員などを取得できるようになりましたが OAuth認証の場合だけです。
- OnTime が Microsoft365 (Exchange Online) と先進認証(OAuth)で接続する際は Azure Portal で「アプリの登録」を行う必要があります。可能であれば本マニュアルを参考に認証方式は先進認証(OAuth) を採用してください。

アプリの登録 1



The screenshot shows the Microsoft Azure Portal interface. At the top, there are two tabs: 'OnTime - Admin' and 'Home - Microsoft Azure'. The address bar displays 'portal.azure.com/#home'. The top navigation bar includes a search bar labeled 'リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)', a user profile icon, and a sign-out link 'ot...@ontimedemo... ONTIMEDEMO'. Below the navigation bar, there's a section titled 'Azure サービス' with icons for 'リソースの作成', 'Azure Active Directory' (which is highlighted with a yellow box), '予約', 'すべてのリソース', 'Virtual Machines', 'コストの管理と請求', 'サブスクリプション', 'リソース グループ', 'ストレージ アカウント', and 'その他のサービス'. A large '→' icon is also present. The main area is titled '最近のリソース' and lists various Azure resources with their names, types, and last viewed dates. At the bottom, there are sections for '移動' (with links to 'サブスクリプション', 'リソース グループ', 'すべてのリソース', and 'ダッシュボード') and 'ツール'.

名前	種類	最終表示日
[Redacted]	ネットワーク セキュリティ グループ	4 日前
[Redacted]	仮想マシン	5 日前
[Redacted]	仮想ネットワーク ゲートウェイ	5 日前
[Redacted]	仮想マシン	1 週間前
[Redacted]	仮想ネットワーク	1 週間前
[Redacted]	パブリック IP アドレス	1 か月前
[Redacted]	仮想マシン	2 か月前
[Redacted]	リソース グループ	3 か月前
[Redacted]	仮想マシン	4 か月前

- 利用するTeamsのテナントの Azure Portal に管理者でログインします。
- Azure Portal から Azure Active Directory を開きます。

アプリの登録 2



The screenshot shows the Microsoft Azure portal with the URL portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_IAM/ActiveDirectoryMenuBlade/Overview. The left sidebar navigation bar has several items highlighted with yellow boxes:

- 概要
- はじめに
- プレビュー ハブ
- 問題の診断と解決
- 管理
 - ユーザー
 - グループ
 - External Identities
 - ロールと管理者
 - 管理単位
 - エンタープライズ アプリケーション
 - デバイス
 - アプリの登録** (highlighted)
 - Identity Governance
 - アプリケーション プロキシ
 - ライセンス
 - Azure AD Connect
 - カスタム ドメイン名
 - モビリティ (MDM および MAM)
 - パスワード リセット
 - 会社のブランド
 - ユーザー設定
 - プロパティ

The main content area displays the 'ontimedemo' tenant's information, including its role (Global Admin), license (Azure AD for Office 365), and primary domain (ontimedemo.com). It also shows the status of Azure AD Connect (Ineffective) and the last synchronization (Never). A chart at the bottom tracks sign-ins over time, showing a peak around January 10th.

- Azure Active Directory の「アプリの登録」を開きます。
- 注意)本マニュアルでの構成
 - OAuthを利用するテナントを「ontimedemo.com」としてご説明しています。
 - OnTimeサーバーのホスト名は「ontime.ontimedemo.com」としてご説明しています。

アプリの登録 3



The screenshot shows the Microsoft Azure portal interface for managing registered applications. The left sidebar is titled 'Azure Active Directory' and includes sections for Overview, Get Started, Preview Hub, Problem Diagnosis & Resolution, and various management options like Users, Groups, External Identities, Roles & Administrators, Management Units, Enterprise Applications, Devices, and App Registrations. The 'App Registrations' option is currently selected. The main content area is titled 'App registrations' and shows a list of registered applications. A yellow box highlights the '+ New registration' button at the top left of the list. The table below lists the applications:

表示名	アプリケーション(クライアント) ID	作成日	証明書とシークレット
or otdemo	5bdb6c27-...-2018/...	2018/...	現在
ON OnTime-D...	f8d17528-...-2020/...	2020/...	現在
ON OnTime-D...	3b03e46e-...-2020/...	2020/...	現在
ON OnTime-D...	de25bf72-...-2021/...	2021/...	現在
ON ontimedemo	0281466a-...-2021/...	2021/...	現在
ON OnTimeD...	ed69bfc2-...-2021/...	2021/...	現在

- 「アプリの登録」で「新規登録」をクリックします。
- 注意1)
既に登録しているアプリケーションがある場合は一覧に表示されます。
- 注意2)
Ver.4.0.8以前で既にOAuth認証を利用されていた場合、またはTeams連携で利用されていた場合は同じアプリケーションを利用できます。
その場合は新規登録で新たに作成する必要はありません。

アプリの登録 4



The screenshot shows the Microsoft Azure portal with the URL portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_IAM/ActiveDirectoryMenuBlade/RegisteredApps. The page title is "アプリケーションの登録 - Microsoft Azure". The left sidebar shows "Microsoft Azure" and "リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)". The main content area is titled "アプリケーションの登録".
Form fields highlighted with yellow boxes:

- "名前": "OnTimeAuth-from-420"
- "サポートされているアカウントの種類": "この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (ontimedemo のみ - シングル テナント)" (radio button selected)
- "リダイレクト URI (省略可能)": "http://localhost:8080/ontimegcms/code.html" (dropdown menu)

Buttons highlighted with yellow boxes:

- "登録" (Register) button at the bottom left.

- 「名前」はエンドユーザーには表示されない名前なので管理上識別しやすい名前を入力します。
- 「サポートされているアカウントの種類」は「この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント」を選択します。

リダイレクトURIには
「<http://localhost:8080/ontimegcms/code.html>」
と入力してください。

- 最後に「登録」をクリックします。

アプリの各IDの設定 1



OnTime - Admin OnTimeAuth-from-410 - Microsoft Edge

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/Overview/quickStartType//sourceType/Microsoft_AAD_IAM/appId/7375492f-a0c3-41...
Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > ontimedemo >
OnTimeAuth-from-420

検索 (Ctrl+ /) 削除 エンドポイント プレビュー機能

概要

表示名
OnTimeAuth-from-420

アプリケーション (クライアント) ID
7375492f-a0c3-41... (クリップボードにコピー)

リダイレクト URI
1 個の Web, 0 個の SPA, 0 個のパブリック クライアント

ディレクトリ (テナント) ID
b943071e-ff87-44...

オブジェクト ID
6548d867-88af-4a...

サポートされているアカウントの種類
所属する組織のみ

API の呼び出し

ドキュメント

Microsoft ID プラットフォーム
認証シナリオ
認証ライブラリ
コードサンプル
Microsoft Graph
用語集
ヘルプとサポート

API アクセス許可の表示

5 分以内にユーザーをサインインする

- 画面が切り替わったら「アプリケーション(クライアント)ID」をコピーし、後ほどOnTime管理センターで利用するのでメモ帳などに保持します。

アプリの各IDの設定 2



The screenshot shows the Microsoft Azure portal interface for managing registered applications. The left sidebar navigation bar is visible, showing various management sections like Overview, Basic, API Permissions, and Authentication. The main content area displays the details for the application 'OnTimeAuth-from-420'. In the 'Basic' section, there are fields for Application ID (7375492f-a0c3-4...), Tenant ID (b943071e-ff87-4...), and Object ID (6548d867-88af-4...). A yellow callout box highlights the 'Copy to Clipboard' button next to the Tenant ID field. A large yellow arrow points from this highlighted area down to the 'Authentication' section in the sidebar.

- 同じく「ディレクトリ(テナント)ID」をコピーし、後ほどOnTime管理センターで利用するのでメモ帳などに保持します。

続いて「認証」をクリックします。

認証の設定



The screenshot shows the Azure portal interface for managing a registered application named 'OnTimeAuth-from-420'. The left sidebar navigation includes '認証' (Authentication) under the '管理' (Management) section. The main content area displays the '認証' (Authentication) blade for the application. A yellow box highlights the '保存' (Save) button at the top right. Another yellow box highlights the 'アクセストークン (暗黙的なフローに使用)' (Access Token (Implicit Flow)) checkbox in the 'サポートされているアカウントの種類' (Supported Account Types) section. A large yellow arrow points from the bottom-left towards the 'アクセストークン' checkbox.

- 発行するトークンを選択します。

アクセストークンにチェックをつけます。

「保存」をクリックします。

クライアントシークレットの設定 1



OnTime - Admin OnTimeAuth-from-410 - Microsoft Edge

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/Credentials/quickStartType//sourceType/Microsoft_AAD_IAM/appId/7375492f-a0c...

Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > ontimedemo > OnTimeAuth-from-420

OnTimeAuth-from-420 | 証明書とシークレット

検索 (Ctrl+ /) フィードバックがある場合

概要 クイック スタート 統合アシスタント

管理 ブランチ 初期 証明書とシークレット トーグル構成 API のアクセス許可 API の公開 アプリのロール | プレビュー 所有者 ロールと管理者 | プレビュー マニフェスト サポート + トラブルシューティング トラブルシューティング 新しいサポート リクエスト

証明書

証明書は、トークンの要求時にアプリケーションの ID を証明するシークレットとして使用できます。公開キーとも呼ばれます。

証明書のアップロード

説明	開始日	有効期限	ID
このアプリケーションには証明書が追加されていません。			

クライアント シークレット

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

+ 新しいクライアント シークレット

説明	有効期限	値	ID
このアプリケーションのクライアント シークレットは作成されていません。			

- 「証明書とシークレット」タブに移動します。

クライアントシークレットの設定 2



OnTime - Admin OnTimeAuth-from-410 - Microsoft Edge

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/Credentials/quickStartType//sourceType/Microsoft_AAD_IAM/appId/7375492f-a0c...

Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > ontimedemo > OnTimeAuth-from-420

OnTimeAuth-from-420 | 証明書とシークレット

検索 (Ctrl+ /) フィードバックがある場合

概要 クイック スタート 統合アシスタント

管理 ブランド 認証 証明書とシークレット

トーグル構成 API のアクセス許可 API の公開 アプリのロール | プレビュー 所有者 ロールと管理者 | プレビュー マニフェスト

サポート + トラブルシューティング トラブルシューティング 新しいサポート リクエスト

証明書

証明書は、トークンの要求時にアプリケーションの ID を証明するシークレットとして使用できます。公開キーとも呼ばれます。

証明書のアップロード 括印 開始日 有効期限 ID

このアプリケーションには証明書が追加されていません。

クライアント シークレット

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

+ 新しいクライアント シークレット

説明	有効期限	値	ID
このアプリケーションのクライアント シークレットは作成されていません。			

- こちらではOnTimeサーバーがアクセスする際に自身のIDを証明する為の「クライアントシークレット」を作成します。
- 「クライアントシークレット」は「アプリケーションパスワード」と呼ばれることがあります。
- 「新しいクライアントシークレット」をクリックします。

クライアントシークレットの設定 3



The screenshot shows the Microsoft Azure portal interface for managing application secrets. On the left, the navigation menu is visible with options like Home, Overview, Quick Start, Integration Assistant, Management, Brand, Authentication, and more. The 'Certificates & Secrets' section is selected. In the center, the 'Client Secret' blade is displayed, showing a table with columns 'Description' and 'Expiration'. A new secret is being added, with the description 'onTimeDemo' and an expiration set to '24 months'. The 'Add' button at the bottom is highlighted with a cursor. The entire 'Add Client Secret' dialog box is highlighted with a yellow box.

- 「クライアントシークレットの追加」ダイアログが開きます。
- 「説明」には識別しやすい名前を入力します。
- 「有効期限」は最長「24か月」まで選択できます。
- 内容がよろしければ「追加」ボタンをクリックします。

クライアントシークレットの設定 4



OnTime - Admin OnTimeAuth-from-410 - Microsoft Edge

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/Credentials/quickStartType//sourceType/Microsoft_AAD_IAM/appId/7375492f-a0c...

Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > ontimedemo > OnTimeAuth-from-420

OnTimeAuth-from-420 | 証明書とシークレット

検索 (Ctrl + /) フィードバックがある場合

新しいクライアントシークレット値をコピーしてください。別の操作を実行したり、このブレードから移動したりすると、それを取得できなくなります。

資格情報は、Web アドレスの指定が可能な場所で (HTTPS スキームを使用して) トークンを受信する際に、機密性の高いアプリケーションが認証サービスに対して自身を識別できるようにするためにあります。より高いレベルで保護するには、資格情報を (クライアントシークレットではなく) 証明書を使うことをお勧めします。

概要 クイックスタート 統合アシスタント

管理

ブランド 認証 証明書とシークレット (選択)

トークン構成 API のアクセス許可 API の公開 アプリのロール | プレビュー 所有者 ロールと管理者 | プレビュー マニフェスト

サポート + トラブルシューティング トラブルシューティング 新しいサポートリクエスト

証明書

証明書は、トークンの要求時にアプリケーションの ID を証明するシークレットとして使用できます。公開キーとも呼ばれます。

証明書のアップロード

このアプリケーションには証明書が追加されていません。

クライアントシークレット

トークンの要求時にアプリケーションが自身の ID を証明するために使用する秘密の文字列です。アプリケーション パスワードと呼ばれることもあります。

新しいクライアントシークレット

説明	有効期限	値	操作
OnTimeDemo	2023/1/23	UlpR6C... b6078c1...-04e1-4...	クリップボードにコピー

- 先ほどの画面上には作成した「クライアントシークレット」が表示されています。
- 「値」をコピーし、後ほどOnTime管理センターで利用するのメモ帳などに保持します。
- 注意**
「値」はこのタイミングでコピーしないと二度と取得できないのでご注意ください。

APIのアクセス許可 1



OnTime - Admin OnTimeAuth-from-410 - Microsoft Edge

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/CallAnAPI/quickStartType//sourceType/Microsoft_AAD_IAM/appId/7375492f-a0c3-4...
Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > ontimedemo > OnTimeAuth-from-420

OnTimeAuth-from-420 | API のアクセス許可

検索 (Ctrl + /) 最新の情報に更新 フィードバックがある場合

概要 クイック スタート 統合アシスタント

管理 ブランド 認証 証明書とシークレット ハイブリッド

API のアクセス許可 API の公開 アプリのロール | プレビュー 所有者 ロールと管理者 | プレビュー マニフェスト

サポート + トラブルシューティング トラブルシューティング 新しいサポート リクエスト

構成されたアクセス許可
アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーから管理者からアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。[アクセス許可と同意に関する詳細情報](#)

+ アクセス許可の追加 o timedemo に管理者の同意を与えます

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	-	...

アクセス許可とユーザーの同意を表示および管理するために、[エンタープライズ アプリケーション](#)をお試しください。

- 「APIのアクセス許可」タブに移動します。
- こちらではOnTimeサーバーが Graph API でアクセスする内容を定義します。
- 「アクセス許可の追加」ボタンをクリックします。

APIのアクセス許可 2



OnTime - Admin API アクセス許可の要求 - Microsoft Azure

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/CallAnAPI/quickStartType//sourceType/Microsoft_AAD_IAM/appId/7375492f-a0c3-4b73-90a5-30a4d8e03530

Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > ontimedemo > OnTimeAuth-from-420 API のアクセス許可

概要 クイック スタート 統合アシスタント

管理 ブランド 認証 証明書とシークレット トーグル構成 API のアクセス許可 アプリの公開 アプリのロール | プレビュー 所有者 ロールと管理者 | プレビュー マニフェスト

サポート + トラブルシューティング 新しいサポートリクエスト

API を選択します

Microsoft API 所属する組織で使用している API 自分の API

よく使用される Microsoft API

Microsoft Graph

Office 365、Enterprise Mobility + Security、Windows 10 の大量のデータを活用しましょう。Azure AD、Excel、Intune、Outlook/Exchange、OneDrive、OneNote、SharePoint、Planner などに単一エンドポイント経由でアクセスできます。

アクセス許可の追加 API / アクセス許可 Microsoft Graph User.Read

アクセス許可とユーザーの同意

Azure Batch Azure DevOps Azure Rights Management Services

Azure Service Management Azure Storage Data Export Service for Microsoft Dynamics 365

Dynamics 365 Business Central Dynamics CRM Dynamics ERP

Flow Service Intune Office 365 Management APIs

- 「APIアクセス許可の要求」ページが開きます。
- 「Microsoft Graph」をクリックします。

APIのアクセス許可 3



OnTime - Admin API アクセス許可の要求 - Microsoft ... +

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/CallAnAPI/quickStartType//sourceType/Microsoft_AAD_IAM/appId/7375492f-a0c3... ☆ ot@ontimedemo... ONTIMEDEMO

Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > ontimedemo > OnTimeAuth-from-420

OnTimeAuth-from-420 | API のアクセス許可

検索 (Ctrl+ /) 最新の情報に更新

概要 クイック スタート 統合アシスタント

管理 ブランド 認証 証明書とシークレット トーグル構成 API のアクセス許可 API の公開 アプリのロール | プレビュー 所有者 ロールと管理者 | プレビュー マニフェスト

サポート + トラブルシューティング トラブルシューティング 新しいサポート リクエスト

API アクセス許可の要求

すべての API Microsoft Graph https://graph.microsoft.com/ ドキュメント

構成されたアクセス許可 アプリケーションは、委任されたアクセス許可の権限

委任されたアクセス許可 アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アクセス許可の追加 破棄

- 「委任されたアクセス許可」をクリックします。

APIのアクセス許可 4



OnTime - Admin API アクセス許可の要求 - Microsoft ... +

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/CallAnAPI/quickStartType//sourceType/Microsoft_AAD_IAM/appId/7375492f-a0c3... 星

Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > ontimedemo > OnTimeAuth-from-420 API のア... API アクセス許可の要求

検索 (Ctrl+ /) 最新の情報に更新

概要 クイック スタート 統合アシスタント

管理 ブランド 認証 証明書とシークレット トーグン構成 API のアクセス許可 API の公開 アプリのロール | プレビュー 所有者 ロールと管理者 | プレビュー マニフェスト

サポート + トラブルシューティング トラブルシューティング 新しいサポート リクエスト

すべての API DeviceManagementManagedDevices DeviceManagementRBAC DeviceManagementServiceConfig Directory Domain EWS EduAdministration EduAssignments EduRoster EntitlementManagement EWS ExternalItem Family

User.Read

アクセス許可とユーザーの同意

EWS.AccessAsUser.All Access mailboxes as the signed-in user via Exchange Web Services

アクセス許可の追加 破棄

- アクセス許可の選択肢が下に展開されるのでスクロールして「EWS」まで移動します。移動したら「EWS」を更に展開します。

「EWS.AccessAsUser.All」をチェックします。

APIのアクセス許可 5



OnTime - Admin API アクセス許可の要求 - Microsoft ... +

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/CallAnAPI/quickStartType//sourceType/Microsoft_AAD_IAM/appId/7375492f-a0c3... 星

Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > ontimedemo > OnTimeAuth-from-420

OnTimeAuth-from-420| API のアクセス許可

検索 (Ctrl+ /) 最新の情報に更新

概要

クイック スタート

統合アシスタント

管理

ブランド

認証

証明書とシークレット

トークン構成

API のアクセス許可

API の公開

アプリのロール | プレビュー

所有者

ロールと管理者 | プレビュー

マニフェスト

サポート + トラブルシューティング

トラブルシューティング

新しいサポート リクエスト

API アクセス許可の要求

すべての API

DeviceManagementManagedDevices

DeviceManagementRBAC

DeviceManagementServiceConfig

Directory

Domain

EAS

EduAdministration

EduAssignments

EduRoster

EntitlementManagement

EWS (1)

EWS.AccessAsUser.All (1)
Access mailboxes as the signed-in user via Exchange Web Services

ExternalItem

Family

アクセス許可の追加 破棄

- 「アクセス許可の追加」をクリックします。

APIのアクセス許可 6



OnTime - Admin OnTimeAuth-from-410 - Microsoft Edge

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/CallAnAPI/quickStartType//sourceType/Microsoft_AAD_IAM/appId/7375492f-a0c3-4...
Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > ontimedemo > OnTimeAuth-from-420

OnTimeAuth-from-420 | API のアクセス許可

検索 (Ctrl+ /) 最新の情報に更新 フィードバックがある場合

⚠️ アプリケーションに対するアクセス許可を編集しています。ユーザーは、既に同意したことがある場合でも同意が必要になります。

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。アクセス許可と同意に関する詳細情報

+ アクセス許可の追加 o timedemo に管理者の同意を与えます

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
EWS.AccessAsUser.All	委任済み	Access mailboxes as the signed-in user via Exchange...	-	...
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	-	...

アクセス許可とユーザーの同意を表示および管理するために、[エンタープライズ アプリケーション](#)をお試しください。

サポート + トラブルシューティング
トラブルシューティング
新しいサポートリクエスト

- 画面が戻ったら再度「アクセス許可の追加」ボタンをクリックします。

APIのアクセス許可 7



OnTime - Admin API アクセス許可の要求 - Microsoft ... +

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/CallAnAPI/quickStartType//sourceType/Microsoft_AAD_IAM/appId/7375492f-a0c3... ☆ :

Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > ontimedemo > OnTimeAuth-from-420

OnTimeAuth-from-420 | API のアクセス許可

検索 (Ctrl+ /) 最新の情報に更新

概要 クイック スタート 統合アシスタント

管理 ブランド 認証 証明書とシークレット トーグル構成 API のアクセス許可 API の公開 アプリのロール | プレビュー 所有者 ロールと管理者 | プレビュー マニフェスト

サポート + トラブルシューティング 新しいサポート リクエスト

API アクセス許可の要求

すべての API Microsoft Graph https://graph.microsoft.com/ ドキュメント

アプリケーションに必要なアクセス許可の種類

委任されたアクセス許可 アプリケーションは、サインインしたユーザーとして API にアクセスする必要があります。

アクセス許可の追加 API / アクセス許可 Microsoft Graph EWS.AccessAsUser User.Read

アクセス許可とユーザーの同意

アクセス許可の追加 破棄

- 今度は「アプリケーションの許可」をクリックします。

APIのアクセス許可 8



OnTime - Admin API アクセス許可の要求 - Microsoft Azure

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/CallAnAPI/quickStartType//sourceType/Microsoft_AAD_IAM/appId/7375492f-a0c3-4... ontimedemo@ontimedemo.onmicrosoft.com

Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > ontimedemo > OnTimeAuth-from-420 | API のアクセス許可

概要 クイック スタート 統合アシスタント 管理 ブランド 認証 証明書とシークレット トーグル構成 API のアクセス許可 API の公開 アプリのロール | プレビュー 所有者 ロールと管理者 | プレビュー マニフェスト サポート + トラブルシューティング トラブルシューティング 新しいサポート リクエスト

検索 (Ctrl+ /) 最新の情報に更新 アプリケーションに対する構成されたアクセス許可 アプリケーションは、同意の後に必要なすべてのアクセス許可を受ける必要があります。 アクセス許可の追加 API / アクセス許可 Microsoft Graph EWS.AccessAsUser User.Read

API アクセス許可の要求

すべての API AppRoleAssignment ApprovalRequest AuditLog BitlockerKey Calendars (1) CallRecord-PstnCalls Calls Channel ChannelMember ChannelMessage ChannelSettings

Calendars.Read Read calendars in all mailboxes (Read calendar) Calendars.ReadWrite Read and write calendars in all mailboxes (Read and write calendar)

CallRecords Calls Channel ChannelMember ChannelMessage ChannelSettings

アクセス許可とユーザーの同意

アクセス許可の追加 破棄

- アクセス許可の選択肢が下に展開されるのでスクロールして「Calendars」まで移動します。移動したら「Calendars」を更に展開します。

「Calendars.ReadWrite」をチェックします。

APIのアクセス許可 9



OnTime - Admin API アクセス許可の要求 - Microsoft Azure

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/CallAnAPI/quickStartType//sourceType/Microsoft_AAD_IAM/appId/7375492f-a0c3-... oti...@ontimedemo.. ONTIMEDEMO

Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > ontimedemo > OnTimeAuth-from-420 API のアクセス許可

概要 クイック スタート 統合アシスタント

構成されたアクセス許可 アプリケーションは、同意の後に必要なすべてのアクセス許可

アクセス許可の追加 API / アクセス許可 Microsoft Graph

EWS.AccessAll User.Read

アクセス許可とユーザーの同意

Directory (1) Directory.Read.All (Read directory data) はい

Domain EduAdministration EduAssignments EduRoster EntitlementManagement

アクセス許可の追加 破棄

- 同様にスクロールして「Directory」まで移動します。移動したら「Directory」を更に展開します。

「Directory.Read.All」をチェックします。

APIのアクセス許可 1 0



OnTime - Admin API アクセス許可の要求 - Microsoft Azure

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/CallAnAPI/quickStartType//sourceType/Microsoft_AAD_IAM/appId/7375492f-a0c3-4...@ontimedemo

Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > ontimedemo > OnTimeAuth-from-420 API のアクセス許可

概要 クイック スタート 統合アシスタント 管理 ブランド 認証 証明書とシークレット トーグル構成 API のアクセス許可 API の公開 アプリのロール | プレビュー 所有者 ロールと管理者 | プレビュー マニフェスト サポート + トラブルシューティング トラブルシューティング 新しいサポート リクエスト

API アクセス許可の要求

すべての API 検索 (Ctrl+ /) 最新の情報に更新 アプリケーションに対する構成されたアクセス許可 アプリケーションは、同意の後に必要なすべてのアクセス許可を取得する必要があります。 アクセス許可の追加 API / アクセス許可 Microsoft Graph EWS.AccessAsUser User.Read

People (1)

People.Read.All () Read all users' relevant people lists はい

Place Policy Presence Printer PrintJob PrintSettings

アクセス許可の追加 破棄

- 同様にスクロールして「People」まで移動します。移動したら「People」を更に展開します。

「People.Read.All」をチェックします。

APIのアクセス許可 1 1



OnTime - Admin API アクセス許可の要求 - Microsoft Azure

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/CallAnAPI/quickStartType//sourceType/Microsoft_AAD_IAM/appId/7375492f-a0c3-4...@ontimedemo

Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > ontimedemo > OnTimeAuth-from-420 API のアクセス許可

概要 クイック スタート 統合アシスタント 管理 ブランド 認証 証明書とシークレット トーグル構成 API のアクセス許可 API の公開 アプリのロール | プレビュー 所有者 ロールと管理者 | プレビュー マニフェスト サポート + トラブルシューティング トラブルシューティング 新しいサポート リクエスト

API アクセス許可の要求

すべての API Member Notes OnlineMeetings OnPremisesPublishingProfiles Organization OrgContact People (1) People.Read.All Read all users' relevant people lists Place (1) Place.Read.All Read all company places Policy Presence Printer PrintJob

アクセス許可とユーザーの同意

アクセス許可の追加 破棄

- 同様にスクロールして「Place」まで移動します。移動したら「Place」を更に展開します。

「Place.Read.All」をチェックします。

APIのアクセス許可 1 2



OnTime - Admin API アクセス許可の要求 - Microsoft Azure

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/CallAnAPI/quickStartType//sourceType/Microsoft_AAD_IAM/appId/7375492f-a0c3-4...@ontimedemo

Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > ontimedemo > OnTimeAuth-from-420 | API のアクセス許可

概要 クイック スタート 統合アシスタント 管理 ブランド 認証 証明書とシークレット トーグル構成 API のアクセス許可 API の公開 アプリのロール | プレビュー 所有者 ロールと管理者 | プレビュー マニフェスト サポート + トラブルシューティング 新しいサポート リクエスト

API アクセス許可の要求

すべての API

TermStore ThreatAssessment ThreatIndicators TrustFrameworkKeySet UserAuthenticationMethod UserNotification UserShiftPreferences

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意の後に必要なすべてのアクセス許可を受けることを許可する

+ アクセス許可の追加 API / アクセス許可 Microsoft Graph EWS.AccessAsUser User.Read

アクセス許可とユーザーの同意

User (1)

権限	はい
User.Export.All (Export user's data)	はい
User.Invite.All (Invite guest users to the organization)	はい
User.ManageIdentities.All (Manage all users' identities)	はい
<input checked="" type="checkbox"/> User.Read.All (Read all users' full profiles)	はい
User.ReadWrite.All (Read and write all users' full profiles)	はい

アクセス許可の追加 破棄

The screenshot shows the 'API Access Permissions' blade for an application named 'OnTimeAuth-from-420'. In the 'User' section, the 'User.Read.All' permission is selected, indicated by a blue checkmark in its checkbox. A yellow arrow points from the text '「User.Read.All」をチェックします。' to the checkbox of this permission. The rest of the permissions listed are not selected.

- 同様にスクロールして「User」まで移動します。移動したら「User」を更に展開します。

「User.Read.All」をチェックします。

APIのアクセス許可 1 3



OnTime - Admin API アクセス許可の要求 - Microsoft Azure

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/CallAnAPI/quickStartType//sourceType/Microsoft_AAD_IAM/appId/7375492f-a0c3-... ontimedemo

Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > ontimedemo > OnTimeAuth-from-420 API のアクセス許可

概要 クイック スタート 統合アシスタント ブランド 認証 証明書とシークレット トーグル構成 API のアクセス許可 API の公開 アプリのロール | プレビュー 所有者 ロールと管理者 | プレビュー マニフェスト サポート + トラブルシューティング トラブルシューティング 新しいサポート リクエスト

検索 (Ctrl+ /) 最新の情報に更新 アプリケーションに対する構成されたアクセス許可 アプリケーションは、同意の後に必要なすべてのアクセス許可を受けることができます。 + アクセス許可の追加 API / アクセス許可 Microsoft Graph EWS.AccessAsUser User.Read アクセス許可とユーザーの同期

API アクセス許可の要求

すべての API

- > TermStore
- > ThreatAssessment
- > ThreatIndicators
- > TrustFrameworkKeySet
- > UserAuthenticationMethod
- > UserNotification
- > UserShiftPreferences
- > User (1)
 - User.Export.All (1) Export user's data はい
 - User.Invite.All (1) Invite guest users to the organization はい
 - User.ManageIdentities.All (1) Manage all users' identities はい
 - User.Read.All (1) Read all users' full profiles はい
 - User.ReadWrite.All (1) Read and write all users' full profiles はい

アクセス許可の追加 破棄

- 「アクセス許可の追加」をクリックします。

APIのアクセス許可 1 4



OnTime - Admin API アクセス許可の要求 - Microsoft Azure

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/CallAnAPI/quickStartType//sourceType/Microsoft_AAD_IAM/appId/7375492f-a0c3-4... otc@ontimedemo ONTIMEDEMO

Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > ontimedemo > OnTimeAuth-from-420

OnTimeAuth-from-420 | API のアクセス許可

検索 (Ctrl+ /) 最新の情報に更新 フィードバックがある場合

⚠️ アプリケーションに対するアクセス許可を編集しています。ユーザーは、既に同意したことがある場合でも同意が必要になります。

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーが管理者からアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。 [アクセス許可と同意に関する詳細情報](#)

+ アクセス許可の追加 ✓ ontimedemo に管理者の同意を与えます

API / アクセス許可の名前	権限	説明	管理者の同意が必要	状態
Microsoft Graph (7)				
Calendars.ReadWrite	アプリケーション	Read and write calendars in all mailboxes	はい	⚠️ ontimedemo に付与され...
Directory.Read.All	アプリケーション	Read directory data	はい	⚠️ ontimedemo に付与され...
EWS.AccessAsUser.All	委任済み	Access mailboxes as the signed-in user via Exchange Web...	いいえ	⚠️ ontimedemo に付与され...
People.Read.All	アプリケーション	Read all users' relevant people lists	はい	⚠️ ontimedemo に付与され...
Place.Read.All	アプリケーション	Read all company places	はい	⚠️ ontimedemo に付与され...
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	いいえ	⚠️ ontimedemo に付与され...
User.Read.All	アプリケーション	Read all users' full profiles	はい	⚠️ ontimedemo に付与され...

アクセス許可とユーザーの同意を表示および管理するために、[エンタープライズ アプリケーション](#)をお試しください。

- アクセス許可の一覧に画面のように7つのAPIが並びます。

「“ドメイン名”に管理者の同意を与えます」ボタンをクリックします。

APIのアクセス許可 1 5



OnTime - Admin OnTimeAuth-from-410 - Microsoft Edge

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/CallAnAPI/quickStartType//sourceType/Microsoft_AAD_IAM/appId/7375492f-a0c3-4...
Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > ontimedemo > OnTimeAuth-from-420

OnTimeAuth-from-420 | API のアクセス許可

検索 (Ctrl+ /) 最新の情報に更新 フィードバックがある場合

概要 クイック スタート 統合アシスタント

管理 ブランド 認証 証明書とシークレット トークン構成 API のアクセス許可 API の公開 アプリのロール | プレビュー 所有者 ロールと管理者 | プレビュー マニフェスト サポート + トラブルシューティング トラブルシューティング 新しいサポート リクエスト

ontimedemo のすべてのアカウントについて、要求されたアクセス許可に対する同意を付与しますか? この操作により、このアプリケーションが既に持っている既存の管理者の同意コードが、以下の一覧の内容に一致するよう更新されます。

に必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。アクセス許可と同意に関する詳細情報

+ アクセス許可の追加 ✓ ontimedemo に管理者の同意を与えます

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
Calendars.ReadWrite	アプリケーション	Read and write calendars in all mailboxes	はい	⚠️ ontimedemo に付与され...
Directory.Read.All	アプリケーション	Read directory data	はい	⚠️ ontimedemo に付与され...
EWS.AccessAsUser.All	委任済み	Access mailboxes as the signed-in user via Exchange W...	いいえ	...
People.Read.All	アプリケーション	Read all users' relevant people lists	はい	⚠️ ontimedemo に付与され...
Place.Read.All	アプリケーション	Read all company places	はい	...
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	いいえ	⚠️ ontimedemo に付与され...
User.Read.All	アプリケーション	Read all users' full profiles	はい	⚠️ ontimedemo に付与され...

アクセス許可とユーザーの同意を表示および管理するために、[エンタープライズ アプリケーションをお試しください。](#)

- 確認画面では「はい」をクリックします。

APIのアクセス許可 1 6



OnTime - Admin OnTimeAuth-from-410 - Microsoft Edge

portal.azure.com/#blade/Microsoft_AAD_RegisteredApps/ApplicationMenuBlade/CallAnAPI/quickStartType//sourceType/Microsoft_AAD_IAM/appId/7375492f-a0c3-4...
Microsoft Azure リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+)

ホーム > ontimedemo > OnTimeAuth-from-420

OnTimeAuth-from-420 | API のアクセス許可

検索 (Ctrl+ /) 最新の情報に更新 フィードバックがある場合

要請されたアクセス許可の管理者の同意が正常に付与されました。

構成されたアクセス許可

アプリケーションは、同意のプロセスの一環としてユーザーからアクセス許可が付与されている場合、API を呼び出すことが承認されます。構成されたアクセス許可の一覧には、アプリケーションに必要なすべてのアクセス許可を含める必要があります。アクセス許可と同意に関する詳細情報

+ アクセス許可の追加 ✓ ontimedemo に管理者の同意を与えます

API / アクセス許可の名前	種類	説明	管理者の同意が必要	状態
Calendars.ReadWrite	アプリケーション	Read and write calendars in all mailboxes	はい	✓ ontimedemo に付与され...
Directory.Read.All	アプリケーション	Read directory data	はい	✓ ontimedemo に付与され...
EWS.AccessAsUser.All	委任済み	Access mailboxes as the signed-in user via Exchange Web...	いいえ	✓ ontimedemo に付与され...
People.Read.All	アプリケーション	Read all users' relevant people lists	はい	✓ ontimedemo に付与され...
Place.Read.All	アプリケーション	Read all company places	はい	✓ ontimedemo に付与され...
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	いいえ	✓ ontimedemo に付与され...
User.Read.All	アプリケーション	Read all users' full profiles	はい	✓ ontimedemo に付与され...

アクセス許可とユーザーの同意を表示および管理するために、エンタープライズ アプリケーションをお試しください。

- 無事に付与されてるか確認します。
- もし付与されない場合はAzureグローバル管理者に連絡してご確認ください。
- 以上で Azure Portal での作業は完了です。



OnTime管理センター ドメイン設定での作業

ドメイン設定



OnTime - Admin

保護されてない通信 | ontimedemo.com:8080/ontimegcms/admin

OnTime®

ONTIME 管理センター

ダッシュボード

データベース設定

グローバル設定

ドメイン設定

新規作成

ドメイン

ドメイン名	状態	説明
ontimebiz	RUNNING	レガシー認証が使用されています。2021年夏までに先進認証に変更を検討してください。 最終更新日時: Sat Jan 23 01:03:40 JST 2021
axcel	NOT_STARTED	レガシー認証が使用されています。2021年夏までに先進認証に変更を検討してください。 最終更新日時: Sat Jan 23 01:03:39 JST 2021

左サイドメニューで「ドメイン」を選択します。

「新規作成」をクリックします。

- Ver.4.0.8以前をご利用だった場合は既存のドメイン設定を選択してください。
- BASIC認証をご利用の場合は左図のような赤字のインフォメーションが表示されますが2021年後半までは利用可能です。

基本タブ

Microsoft365(Exchange Online)への接続



OnTime - Admin OnTimeAuth-from-410 - Microsoft | +
保護されていない通信 | ontimedemo.com:8080/ontimegcms/admin

OnTime®

ONTIME 管理センター

保存 | キャンセル | 「アプリの登録」を開く

ドメインの編集

基本 認証 Source Proxy 高度な設定

ドメイン名
OnTimeDemo

優先順位
1

ドメインタイプ
Exchange Online

Impersonation User
ontimedemo.onmicrosoft.com

パスワード

ドメイン名はOnTime 管理センターで識別しやすい名前をつけています。通常はテナント名です。

優先順位は複数テナント時に同じメールアドレスが使用されている場合にどのテナントを優先するかを指定します。

一時的に接続しない場合は無効に出来ます。

ドメインタイプでExchange OnlineかオンプレExchangeを選択します。Microsoft365(Exchange Online)の場合は「Exchange Online」を選択します。

オンプレExchangeの設定は P.61 参照

接続するテナントで予め準備した Impersonation User とパスワードを入力します。

認証タブ 先進認証とGraphによるEWS接続



The screenshot shows the 'Domain Settings' configuration page in the OnTime Admin interface. The 'Authentication' tab is selected. The 'Authentication Type' dropdown is set to 'Advanced Authentication (OAuth)'. Below it, three input fields are filled with placeholder text: 'Application ID' (7375492f-a...), 'Tenant ID' (b943071e-...), and 'Client Secret' (.....). The left sidebar lists various management categories.

認証タイプは「先進認証(OAuth)」を選択します。
オンプレExchangeもしくはMicrosoft365（但し2021年後半まで）では「基本認証(BASIC)」を選択します。

先進認証(OAuth)に必要となる各種IDとパスワードを入力します。メモ帳にコピーした3つのテキストを貼り付けます。

Sourceタブ 配布リストでアドレスリストを取得



The screenshot shows the OnTime Admin interface with the 'Domain Configuration' screen open. The 'Source' tab is selected. Under the 'LDAP' section, there is a checkbox labeled 'LDAPを有効にする' (Enable LDAP) which is checked. Below this, a list of email addresses is displayed in a text input field, separated by commas: 'ontimeusers@ontimedemo.com,ontimestaff@ontimedemo.com,testdeleteuser@ontimedemo.com,ontimerooms@ontimedemo.com,osaka1@ontimedemo.com,osaka2@ontimedemo.com,workspace1@ontimedemo.com,workspace2@ontimedemo.com,demoyama3@ontimedemo.com,ontimeresources@ontimedemo.com'. This list is highlighted with a yellow box. To the left of the list, under the 'LDAP' heading, is a sidebar with categories: ユーザー, 会議室, 共有席, 備品.

- ・ 今回はグループのメールアドレスをリストで指定します。
- “LDAPを有効にする”のチェックを外します。
- ・ 次にOnTimeと同期するリストをグループ化した配布グループ(配布リスト)のメールアドレスを指定します。
 - ・ グループアドレスにはOnTimeで表示する、または操作できるいずれの場合のアカウントでも含まれている必要があります。
 - ・ 設定した配布グループが入れ子になっていても問題ありません。入れ子になっているグループを指定するとOnTime管理センタの他の設定（ロール設定や静的グループ設定）などで利用できます。
 - ・ ドメインのユーザー、会議室、共有席、備品のそれぞれに指定されている配布グループ(配布リスト)のメールアドレスが複数の場合はカンマで区切ってください。

Proxyタブ Proxyを利用する場合の設定



The screenshot shows the OnTime Admin interface with the URL <https://ontimedemo.com:8080/ontimegcms/admin>. The left sidebar contains various settings like Dashboard, Database, Global, and User. The main window is titled 'Domain編集' (Edit Domain) and has tabs for Basic, Authentication, Source, Proxy (which is selected), and Advanced Settings. It shows fields for Host Name and Port Number, both of which are highlighted with a yellow box.

- Proxyをご利用の場合はProxy設定を行います。
- もしProxyをキャッシュ目的で利用されている場合でダイレクト通信も可能であればOnTimeはダイレクト通信させてください。OnTimeが行うデータはあまり副次利用されません。

高度な設定タブ



The screenshot shows the OnTime Admin interface with the URL <https://ontimedemo.com:8080/ontimegcms/admin>. The page title is "OnTime - Admin". The main menu on the left includes "ONTIME 管理センター", "ダッシュボード", "データベース設定", "グローバル設定", "ドメイン設定" (highlighted), "ユーザー設定", "表示グループ設定", "凡例設定", "日程調整設定", "ケータリング設定", and "来訪者管理設定". The right panel shows "ドメインの編集" (Domain Edit) with tabs: 基本 (Basic), 認証 (Authentication), Source, Proxy, and 高度な設定 (Advanced). The Advanced tab is selected. Under "接続のトレース" (Connection Trace), there is a note: "トレースを有効にすると同期時間が増大するので注意下さい" (Note: Enabling tracing increases synchronization time). The "同期設定" (Sync Settings) section contains two input fields: "起動時の同期スレッド数" (Number of threads for initial sync) set to 5, and "連続同期スレッド数" (Number of threads for continuous sync) set to 5. Both fields have a question mark icon.

- 接続のトレースはチェックをつけません。サポートから依頼があった場合のみ設定してください。
- 同期設定では「起動時」「通常運用時」それぞれのスレッド数を指定できます。
 - Exchange上のイベント更新情報がOnTimeに反映されるのが遅い場合はOnTimeの同期処理がExchange上のイベント更新頻度に追いついていない可能性があります。そのような場合にスレッド数を増やすことで改善する場合もあります。
 - 最小数は 5 です。**起動時設定は5を推薦します。**
 - OnTimeサーバーのCPUやメモリに充分なパワーがある場合はCPUやメモリの使用率を見ながら徐々に数値を変更してみてください。
 - 1000人規模のユーザー数の場合は5程度、8000人規模で20程度に設定します。
注意）一つのExchangeテナントに20以上のスレッドは設定しないでください。

設定が完了したら「保存」をクリックします。

設定したドメインリストについて



The screenshot shows the OnTime Admin interface with the URL ontimedemo.com:8080/ontimegcms/admin. The left sidebar contains navigation links for Dashboard, Database Settings, Global Settings, Domain Settings (highlighted), User Settings, Display Group Settings, Example Settings, Scheduling Adjustment Settings, Cataloging Settings, and Visitor Management Settings. The main content area is titled "Domain" and lists three domains:

- OnTimeDemo (Status: NOT_STARTED, ID: 202220CB-ED06-4CC7-B3C1-5346B443D648)
- ontimebiz (Status: RUNNING, ID: 37645AD4-3668-44CC-9A59-F809DC4E581F)
- axcel (Status: NOT_STARTED, ID: EA709FCF-A535-4B86-9CEA-5BA9420D708E)

Each domain entry includes a "Last updated at" timestamp and a note about the use of Legaccer certificates.

- 画面が閉じると先ほど設定したドメインが増えています。

アプリケーションを再起動するまで“NOT_STARTED”と表示されます。
修正する場合はクリックすることで編集画面が表示されます。修正した場合はOnTimeアプリケーションの再起動が必要です。

- アプリケーションを再起動するためには“ダッシュボード”に移動します。



ダッシュボードで再起動

This screenshot shows the OnTime Management Center dashboard. The sidebar menu on the left includes 'ダッシュボード' (Dashboard), 'データベース設定' (Database Settings), 'グローバル設定' (Global Settings), 'ドメイン設定' (Domain Settings), 'ユーザー設定' (User Settings), '表示グループ設定' (Display Group Settings), and 'ヘルプ' (Help). The main area displays 'システム状況' (System Status) with four items: 'アプリケーション' (Application) in 'RUNNING' state, '有効なライセンスの確認' (Valid License Confirmation) in 'RUNNING' state, '接続状況' (Connection Status) in 'RUNNING' state, and 'Exchange ドメイン' (Exchange Domain) in '0 / 0 RUNNING' state. Each item has '実行' (Run) and '停止' (Stop) buttons.

- ドメイン情報を作成/変更した場合はOnTimeサービスの再起動が必要になります。

左サイドメニューでダッシュボードに移動します

「OnTimeアプリケーション」で停止をクリック

「OnTimeアプリケーション」で実行をクリック

This screenshot shows the OnTime Management Center dashboard after stopping the application. The sidebar menu is identical to the first screenshot. The main area now shows 'システム状況' with all four items in 'STOPPED' state: 'アプリケーション' (Application), '有効なライセンスの確認' (Valid License Confirmation), '接続状況' (Connection Status), and 'Exchange ドメイン' (Exchange Domain). The '実行' (Run) button is highlighted.

- 続いてOnTime設定マニュアルでそのほかの設定をします。



補足1) オンプレExchangeと基本認証

オンプレExchangeへのEWS接続



The screenshot shows the 'Domain Configuration' screen in the OnTime Admin interface. The 'Basic' tab is selected. Key fields include:

- Domain Name:** OnTimeDemo
- Priority Order:** 1
- Domain Type:** On-premises Exchange
- Impersonation User:** [Redacted]@ontimedemo.onmicrosoft.com
- Password:** [Redacted]
- Domain:** [Redacted]
- Exchange Server:** https://outlook.office365.com
- EWS URL:** https://outlook.office365.com
- Autodiscover URL:** https://outlook.office365.com
- Domain Type:** Exchange2013 or New

- オンプレExchangeに接続する際はこのページの設定をご参考ください。

例：“OnTimeDemoCom”と入力。優先順位：“1”を入力。

- 優先順位は複数テナント時に同じメールアドレスが使用されている場合にどのテナントを優先するかを指定します。例えばオンプレからクラウドに移行の最中の場合はクラウドを優先したいのでオンプレは大きい数字を指定します。

ドメインタイプで「オンプレExchange」を選択します。

接続するサーバーで予め準備した Impersonation User と
パスワードを入力します。
Exchangeのドメインも入力します。

Exchange Serverの情報を入力します。
主となるメールボックスサーバーのアドレスを指定してください。

基本認証によるEWS接続



The screenshot shows the OnTime Admin interface with the URL ontimedemo.com:8080/ontimegcms/admin. The left sidebar contains various management options like Dashboard, Database Settings, Global Settings, etc. The main window is titled 'Domain Configuration' and has tabs for Basic, Authentication, Source, Proxy, and Advanced Settings. The 'Authentication' tab is selected. A dropdown menu labeled 'Authentication Type' is open, showing 'Basic Authentication (BASIC)' as the selected option. A yellow arrow points from the text '基本認証(BASIC)を選択します。' to this dropdown.

- ドメインタイプで Exchange Online を選択された場合で OAuth認証を選択できない場合、また旧バージョンからご利用でまだ先進認証の準備が整っていない場合は「基本認証(BASIC)」を選択してください。
2021年後半には利用が禁止される予定です。

基本認証(BASIC)を選択します。

- オンプレExchangeは基本認証のみを受け付けますのでこの画面は表示されません。



補足2) LDAPでアドレスリスト取得

LDAPでアドレスリスト取得 1



The screenshot shows the 'Domain Configuration' screen in the OnTime Admin interface. The 'Source' tab is selected. Under the 'LDAP' section, there is a checkbox labeled 'Enable LDAP'. A large yellow arrow points from this checkbox to a callout box at the bottom right. The callout box contains the Japanese text: "LDAPを有効にする"のチェックをします。 The rest of the screen shows fields for URLs, users, and password, along with 'Test' buttons for each section.

- OnTimeはExchangeと連携しているActive DirectoryからLDAP(S)により同期対象を指定することもできます。
- LDAP(S)を使用することで例えばフリガナ属性やカスタム属性1～15なども取得してOnTimeで活用できます。
- Microsoft365のExchange Online接続であってもAzureAD Connectを使用してAD連携しているのであれば利用可能です。
- ちなみにOnTimeは複数のテナントと接続することも可能ですが、よってActive DirectoryはOnTimeが稼働するテナントである必要はありません。LDAP(S)で接続できればいずれのテナントも利用可能です。

"LDAPを有効にする"のチェックをします。

LDAPでアドレスリスト取得 2



The screenshot shows the 'Domain Configuration' screen in the OnTime Admin interface. The 'Source' tab is selected. Under the 'LDAP' section, the 'Basic' tab is active. The configuration includes:

- URL: ldap://o[REDACTED].ontime.otbz:389
- User: CN=Administrator, CN=Users, DC=ontime, DC=otbz
- Password: [REDACTED]
- Base: OU=o365, DC=ontime, DC=otbz
- Scope: SUB_TREE
- Filter: (mail=*)
- Base: OU=o365, DC=ontime, DC=otbz
- Scope: ONE_LEVEL
- Filter: (cn=*)
- Base: [REDACTED]
- Scope: ONE_LEVEL
- Filter: [REDACTED]

- 同期対象の設定を行います。

Active DirectoryへのLDAP接続用アカウントの設定です。
事前にldp.exe等で接続確認を行ってください。

接続先ドメインのユーザー、会議室、備品のそれぞれを検索するフィルター条件を指定してください。
次ページにサンプルがあります。

設定後は「保存」をクリックします。

LDAPでアドレスリスト取得 3



同期対象

LDAP

URL

ユーザー

パスワード

ベース

スコープ

フィルター

ベース

スコープ

フィルター

ベース

スコープ

フィルター

LDAPを有効にする

ldap://[REDACTED]ad.onetime.otbz:389

CN=[REDACTED], CN=Users, DC=ontime, DC=otbz

.....

テスト

OU=o365, DC=ontime, DC=otbz

SUB_TREE

(cn=*)

テスト

OU=o365, DC=ontime, DC=otbz

ONE_LEVEL

(cn=OnTimeRooms)

テスト

OU=o365, DC=ontime, DC=otbz

ONE_LEVEL

(mail=OnTimePersons)

ベース

スコープ

フィルター

The screenshot displays two examples of LDAP configuration for address list retrieval. The left example shows retrieving users from a specific group, while the right example shows retrieving users from a specific room group. Both examples use the same base and scope settings.

- 左図を参考に組織に応じたフィルター条件で取得してください。
- 左上 特定の属性に値があるアカウントを全て取得
- 右下 特定のグループに属しているアカウントを全て取得
- 取得したリストにグループが含まれている場合はそのグループをロール設定などで利用できます。



補足3) Graphで認証エラーが出る

ドメイン接続がエラーで接続できない



OnTime - Admin OnTimeAuth-from-410 - Microsoft Edge

保護されていない通信 | ontimedemo.com:8080/ontimegcms/admin

OnTime®

ONTIME 管理センター

ライセンスの編集 更新

ダッシュボード

システム状況

- アプリケーション: RUNNING 実行 停止 最終実行日時: Sat Jan 23 13:58:12 JST 2021
- 有効なライセンスの確認: RUNNING 実行 停止 最終実行日時: Sat Jan 23 13:58:13 JST 2021
- 接続状況
- SQL DB 接続状況: RUNNING 最終実行日時: Sat Jan 23 13:58:11 JST 2021

Exchange ドメイン: 1 / 2 RUNNING

同期スケジュール

- Directory Synchronisation: SCHEDULED TO RUN 02:00 実行 最終実行日時: Sat Jan 23 13:56:06 JST 2021
- User & Group Synchronisation: SCHEDULED TO RUN 02:00 実行 最終実行日時: Sat Jan 23 13:56:07 JST 2021
- Photo Synchronisation: SCHEDULED TO RUN 02:00 実行 最終実行日時: Sat Jan 23 02:00:53 JST 2021
- Permission Synchronisation: SCHEDULED TO RUN 02:00 実行 最終実行日時: Sat Jan 23 02:00:47 JST 2021
- Event Synchronisation: SCHEDULED TO RUN TOMORROW 02:00 実行 最終実行日時: Sat Jan 23 02:00:54 JST 2021

日程調整

- アプリケーション: RUNNING
- SQL DB 接続状況: OK

ケータリング

名前	状態	最終実行日時
Exchange ドメイン	1 / 2 RUNNING	Sat Jan 23 13:58:12 JST 2021
Directory Synchronisation	SCHEDULED TO RUN 02:00	Sat Jan 23 13:56:06 JST 2021
User & Group Synchronisation	SCHEDULED TO RUN 02:00	Sat Jan 23 13:56:07 JST 2021
Photo Synchronisation	SCHEDULED TO RUN 02:00	Sat Jan 23 02:00:53 JST 2021
Permission Synchronisation	SCHEDULED TO RUN 02:00	Sat Jan 23 02:00:47 JST 2021
Event Synchronisation	SCHEDULED TO RUN TOMORROW 02:00	Sat Jan 23 02:00:54 JST 2021

- インジケーターが赤色や黄色の場合はドメイン接続が出来ていない状態です。
- OnTimeをバージョンアップしたなどの場合はほとんどが先進認証(OAuth)が正しく設定されていないときです。

ドメイン設定で該当ドメインを確認



The screenshot shows the OnTime Admin interface with the URL ontimedemo.com:8080/ontimegcms/admin. The left sidebar includes links for Dashboard, Database Settings, Global Settings, Domain Settings (highlighted), User Settings, Display Group Settings, Default Settings, Scheduling Adjustment Settings, Catering Settings, and Visitor Management Settings. The main content area is titled 'Domain' and lists three domains:

- OnTimeDemo (STOPPED, ID: 20220CB-ED06-4CC7-B3C1-5346B443D648) - This row has a yellow box around it, indicating an error message.
 - エラー:** com.ontimesuite.ontime.ms.v2.web.api.v2.Api2ErrorException: Error: Authentication Tokens is expired. Refresh ...
 - 最終更新日時: Sat Jan 23 13:58:12 JST 2021
- ontimebiz (RUNNING, ID: 37645AD4-3668-44CC-9A59-F809DC4E581F)
 - レガシー認証が使用されています。2021年夏までに先進認証に変更を検討してください。
 - 最終更新日時: Sat Jan 23 13:58:12 JST 2021
- axcel (NOT_STARTED, ID: EA709FCF-A535-4B86-9CEA-5BA9420D708E)
 - レガシー認証が使用されています。2021年夏までに先進認証に変更を検討してください。
 - 最終更新日時: Sat Jan 23 13:58:12 JST 2021

- 該当ドメインが「STOPPED」でエラーメッセージが表示されています。
- クリックして設定を確認します。

認証タブに追加で必要な「アクセス許可」が表示



OnTime - Admin

保護されていない通信 | ontimedemo.com:8080/ontimegcms/admin

ライセンス先 AXCEL-4th environment
5000分うち70ライセンスを使用中です
OnTime サブスクリプション | 継続まで 343 日

OnTime®

ONTIME 管理センター

保存 | キャンセル | 「アプリの登録」を開く | 削除

ドメインの編集

基本 認証 Source Proxy 高度な設定

認証タイプ: 先進認証(OAuth)

アプリケーション ID: 7375492f-a... (hidden)

ティレクトリ(テナント)ID: b943071e-f... (hidden)

クライアントシークレット: [REDACTED]

追加設定が必要なアクセス許可: MICROSOFT GRAPH
Calendars.ReadWrite (APPLICATION)
Directory.Read.All (APPLICATION)
EWS.AccessAsUser.All (DELEGATED)
Place.Read.All (APPLICATION)
User.Read.All (APPLICATION)

- 追加で必要となるアプリのアクセス許可が表示されています。
- AzureADの「アプリの追加」に戻り、必要となるアクセス許可を追加して再度OnTimeを起動してください。